

令和1年度 共同生活援助事業実施報告

I、本事業は平成23年にケアホームからスタートをしている。平成27年にグループホームへの移行と新規にスペアミント事業を開設。現在、下記に示すように13名の入居者がいる。入居者の年齢は30代が4名、40代が3名、50代が3名、60代が3名である。利用者の高齢化が進み、重度化は年を増すごとに加速している。入居者にも便失禁、尿失禁や大声を上げることや手を上げるなどの暴力行為が見られるようになった。

すでに支援区分は3が2名、4が6名、5が2名である。

それに伴い、職員も手厚く配置している。朝、夕の食事の支援を行う世話人など、追加の配置基準を取っている。本年は特にインシデント・アクシデントなく1年を経過した。しかし、身体や精神等の基礎疾患を持っている利用者が多い事は事実であり、常に医療的行為は外すことはできない状況にある。職員の観察力の向上も課題の一つである。

- II、入居者
- ・カモミール棟（定員9名）8名（男性5名 女性3名）
 - ・スペアミント棟（定員8名）5名（男性4名 女性1名）
 - ・ショートステイ（定員1名）

III、取り組みに対する結果

1、ホームにて掃除や洗濯、食事（配膳準備等）に関することでは入居者一人一人が責任を持てるよう支援することで、掃除の方法、洗濯物の干し方等、自ら進んで行うようになった。又、洗濯物を干すことが難しい入居者の洗濯物干しを手伝うなど助け合いの気持ちも生まれてきたことはとても素晴らしい事でグループホームの役割の目的が果たせたように思う。

2、利用者に対する相談

入居者に対する相談援助を行った。利用者会議を月に1回実施。日用品、嗜好品等購入したい物、移動支援を利用していきたい所など希望を聞いた。ヘルパーステーションなど他事業とも連携し、資源の活用が出来た。個別に居室や管理人室を利用して相談も行った。訴え、要望等を聞き、早期対応を行った。

3、食事の提供

入居者一人一人に年齢、体重、運動量やカロリー消費量等に応じて、栄養士が献立を作成した。栄養士の指導の下、食事を提供した事により、体重の適正化に繋がった。特に体重の増加が見られる利用者には、看護師や栄養士にその都度相談し、野菜中心等のメニューに変更を行った。また休日には散歩やフライングディスク等の運動も取り入れている。又、正月等長期自宅へ外泊された利用者に対して、保護者に昨年度の体重と今年度の体重の比較表を提示し、自宅での食事のアドバイスも行った。

4、入浴、排せつ、食事等の介護

①入浴

毎日支援、対応する事により清潔を保ち、発疹やかき傷の発見に対して早期対応をした。男性の髭剃りや整髪等身だしなみも整えた。肌が乾燥する11月から4月は、保湿性の高い入浴剤を毎日使用し、乾燥による肌のかゆみや発疹等も減少した。

②口腔ケア

歯科衛生士による歯磨き指導により、毎食後、利用者一人一人に応じた口腔ケアを実施する事で、清潔の維持が出来た。歯科衛生士より口腔内の状態を聞き、歯科受診を行い、保護者対応できない利用者に対しては移動支援利用で実施した。

③排泄

排泄後に呼び出しブザーを押してもらった事で排便の有無や性状の観察ができ、肛門周囲の拭き残しがないように支援を行った。生理の処理が難しい利用者には職員が対応した。排便困難な利用者に対しては、定期的に看護師が浣腸の支援を行う事で排便のコントロールが出来るようになった。

5、健康管理

①バイタルチェック

7:00と15:30にバイタルチェックと毎月1回(第1土日)体重測定を実施。体調不良者に対しては、施設長や看護師に状態報告・相談をし、病院受診など迅速に対応した。また、毎週月曜日には、看護師が入居者全員の健康状態確認を行っている。

②服薬支援

服薬に関しては、準備をする際に宿直者と世話人とでダブルチェックを行い、服薬後はチェックシートに記入し、誤薬や不投薬のないようにした。又、てんかんがある利用者の服薬に関しては、薬の効果を継続させるため主治医の指示のもと服薬時間を設定し、服薬を行った

③健康、体力維持

体力維持やストレスの解消として、休日の午後より天候や気温等を配慮し、フライングディスクや散歩を取り入れた。

④健康診断

年に1回の健康診断を実施し、国保や生保の利用者は市民検診、定期受診日を行っている利用者にはかかりつけ医で実施を行うなど積極的に健康確認に取り組んだ。

検査結果で要観察者には保護者に連絡をすることでかかりつけ病院の医師につながることができた。

⑤余暇活動

毎月、課外活動、買い物学習・映画等を計画し、又、定期的に買い物外出をした。休日にはスペアミント棟横の自動販売機で本人の希望する商品を購入した。

- ・ 外食（毎月、利用者の希望を調査）
- ・ カモミール・スペアミント合同バーベキュー大会
- ・ ドライブ（花見）
- ・ 地域の夏祭り参加
- ・ 映画鑑賞
- ・ ボウリング
- ・ クリスマスディナー

⑥新型コロナウイルス他感染症対策

令和 2 年 2 月よりコロナウイルス対策の為、定時（平日は利用者が帰ホームする前、休日は支援員の退勤前）での消毒作業（アルコール、オスバン）を行っている。利用者や職員が触れる場所（手すり、トイレ、ドアの取っ手など）の消毒を行っている。また、ウイルスを持ちこまないよう、玄関先での手指アルコール消毒を実施した。結果、コロナ、インフルエンザウイルス共にグループホーム内での罹患者はでなかった。

6、緊急時の対応

令和 1 年度は、6 月にグループホーム内での避難訓練を行った。初期消火失敗の事案での訓練を実施し、避難場所や避難経路の確認を行った。

7、その他

・ 保護者会

4 月と 10 月に保護者会と第 3 者委員会を招集し、意見交換の場を設けた。欠席をする保護者が多く、発言する保護者も限られている。会議の持ち方にも課題があるように思える。個人の面談には多くの発言が聞かれていたので今後は個人面談に時間を多くとる方向で考えている。不参加の保護者に対して報告書を送付し、共有を図った。

IV、利用者支援

- 1、股関節脱臼で歩行困難な利用者（女性）に対して、定期的な排泄への促しで尿漏れの改善（防止）にもつながり、清潔を保つことができた。
- 2、失禁の回数が多い利用者は、定期的なトイレ誘導を行うことで失禁の回数の減少に繋がっている。特に深夜の失禁回数が大幅に減少した。
- 3、夜間、便失禁、尿失禁がある利用者がある。浣腸にて排便コントロールをしている。現在は稀だがシーツの汚染や衣服にも便が付着しているときがある。
- 4、体重増加が気になる利用者に対しては、食事量のコントロールや余暇時間での運動を行った。その結果、体重減少に繋がり肥満の解消や生活習慣病の予防にも繋げる事が出来た。